

## 『委員実践活動』の対象事業・対象経費

山北地区まちづくり協議会活性化事業「委員実践活動」はこれまでの部会を中心とした活動では活動をしにくかったという課題を解決するために創設した事業です。

委員の皆さん一人ひとりが「主体的に」「やりたいことを」「動きやすい体制で」活動に取り組んでください。

### <対象事業>

項目	事業概要	対象となる事業（例）	備考
1. 集落・地域の元気	集落・地域を元気にする取組	集落・地域住民を対象としたイベント・会合	
2. 子ども・親	子どもの見守り、子育て支援の取組	子ども通学（園）見守り事業、子育て講演会	
3. 健康・福祉	健康づくり、高齢者の生きがいづくり、福祉の活動の取組	集落の茶の間、健康づくり教室、スマホ教室、高齢者見回り運動（安否確認、除雪など）	
4. 防災・防犯	集落・地域の防災・防犯の取組	避難訓練、地域の防災マップの作成、防犯パトロール	
5. 伝統文化	集落・地域の芸能、食、生活文化などの保存・継承の取組	郷土料理教室、集落の歴史探訪、名所・旧跡マップ作成、集落史の発行	
6. 環境	集落・地域内の生活環境改善、環境美化などの取組	花いっぱい運動、道路・河川・海岸清掃	
7. 産業	産業振興への取組	産直市、特産品の試作	
8. 人材育成	集落・地域の人材育成のための取組	集落リーダー養成研修会の開催、地域づくりのスキルアップ研修会への参加	
9. その他	その他、集落・地域の活性化が期待できる取組		

### <対象経費>

費目	対象となる経費（例）	対象とならない経費（例）
1. 報償費	○講演会等の講師謝金 ○事業協力者への謝金等	×自分が講師になった場合の講師謝礼
2. 旅費	○講師等の交通実費 ○研修等への参加に要する実費旅費	×親睦旅行の参加費、旅費
3. 食糧費	○研修、会合等の後の懇親会負担金 ○研修、会合等の後の懇親会料理・飲物代等	×単なる飲み会の経費
4. 消耗品費	○事務用品 ○資・機材、燃料費等	×事業に直接必要のない消耗品等
5. 印刷製本費	○写真・コピー代、印刷代、看板・横断幕等作成費等	×事業に直接関係のない印刷経費
6. 通信運搬費	○対象事業にかかる切手代、宅配料等	×事業に直接関係のない通信運搬費
7. 保険料	○事業に係るイベント保険料等	×事業に直接関係のない保険料
8. 使用料及び賃借料	○施設使用料、機械器具、車両借上料等 ○会場使用料	×事業に直接関係のない使用料等
9. その他	○上記以外で、取組に必要と認めるもの	

## 『委員実践活動』の留意事項と具体的事例

- 助成額：10,000円/年（委員一人当たり）※複数の委員で取組む場合は「委員数」×10,000円  
※助成額を超えた分はその他の財源を確保して賄ってもらうことになります。
- 助成条件：懇親会の料理・飲物代等に使用する場合は、経費の1/2は参加者会費で賄ってください  
研修、会合等の後の懇親会負担金は1/2以内としてください
- その他：山北地区まちづくり協議会「委員実践活動」として実施していることのPRをしてください

No.	具体的事例	助成金の活用方法
1	①集落の青壮年層を対象に「集落の未来を語る会」を開催。終了後、参加者で懇親会を行った ※懇親会参加費1,000円/人を徴収し、不足分は実践活動助成金を充当	①経費：25,000円 料理代10,000円、飲物代15,000円 ①財源：25,000円 参加者負担金1,000円×17人=17,000円 実践活動助成金8,000円
2	②地域の子育て世代を対象に「子育て講演会」を開催	②経費：7,000円 講師謝礼5,000円、参加者のお茶と菓子2,000円 ②財源：7,000円 実践活動助成金7,000円
3	③ちょっと贅沢「出張健康づくり教室」の開催	②経費：16,000円 講師謝礼6,000円 参加者スイーツ500円×20人=10,000円 ②財源：16,000円 実践活動助成金10,000円 参加者会費100円×20人=2,000円 集落からの支援金4,000円
4	④避難訓練+炊き出し訓練を兼ねて集落の芋煮会を開催。終了後、懇親会を行った	②経費：15,000円 炊き出し材料5,000円、芋煮会材料5,000円 飲物代5,000円 ②財源：15,000円 実践活動助成金10,000円 懇親会参加者会費100円×50人=5,000円
5	⑤「盆踊り唄」記録CDの作成	②経費：10,000円 協力者謝礼3,000円×3人=9,000円、CD1,000円 ②財源：10,000円 実践活動助成金10,000円
6	⑥旧出羽街道沿線集落に声をかけて「ゴミ拾いウォーキングイベント」を開催	②経費：10,000円 参加者お茶代3,000円、おにぎり材料代5,000円 傷害保険加入2,000円 ②財源：10,000円 実践活動助成金10,000円 ゴミ袋：市民生活室から無償提供

7	<p>⑦地域の産物を使って山北のお土産品となる特産品を試作した</p>	<p>⑦経費：10,000円 試作に係る材料代10,000円 ⑦財源：10,000円 実践活動助成金10,000円</p>
8	<p>⑧地域づくりをテーマとしたワークショップに参加。終了後、参加者有志による懇親会へ参加</p>	<p>⑧経費：9,000円 研修会資料代3,000円、懇親会負担金6,000円 ⑧財源：9,000円 実践活動助成金6,000円=3,000円+6,000円×1/2 自己負担6,000円×1/2</p>
9	<p>⑨まち協委員8人で夏のイベントを企画。打合せ会議を行い、終了後、懇親会を行った ※協議会活性化事業実施要綱第2(6)により1,000円/人助成を活用</p> <p style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</p> <p>⑩まち協委員有志(15人)主催により夏のイベントを実施</p> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <p>⑪まち協有志と関係団体で実行委員会を組織して夏のイベントを実施 ※団体等活動支援事業助成金を活用</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>⑫まち協役員会に企画を提案し、まち協主催事業として認定してもらい夏のイベントを実施</p>	